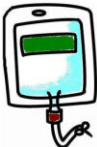



FOLFIRI+アービタックスの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。()内は抗がん剤の成分名です。

お薬の名前	1日目	2日目	3~7日目	8日目	9~14日目
アレルギー予防	 30分		お休み	 30分	お休み
アービタックス (セツキシマブ) mg	 初回は120分、 2回目は60分		お休み	 60分	お休み
吐き気止め	 30分		お休み	お休み	お休み
カンプト (イリノテカン) mg	 90分		お休み	お休み	お休み
レボホリナート (レボホリナート) mg	 2時間		お休み	お休み	お休み
5-FU (フルオロウラシル) mg	 15分		お休み	お休み	お休み
5-FU (フルオロウラシル) mg	 46時間		お休み	お休み	お休み

アレルギー予防としてアービタックス投与30分前までに抗アレルギー薬を服用します。

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、治療開始後 7～14 日頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。



貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつきなどの症状としてあらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

血小板減少

血小板の数が少なくなることがあります。血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

低マグネシウム血症

血液中のマグネシウム量が減少することがあります。そのため、定期的に血液検査を行い、マグネシウムの量を確認します。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。症状に合わせて吐き気止めを使います。

ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを使用する場合があります。ただし、発熱・嘔吐などを伴う場合は病院へ連絡して下さい。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりとりましょう。

脱毛

抗がん剤の種類や患者さん個人によって違いはありますが、治療開始 2～3 週間後から抜け始めます。髪以外の部分（まゆ毛、ひげ、体毛など）でも同様におこります。

治療が終了すれば、少しずつですが生えてきます。

⇒脱毛が気になる場合は、医療用かつらやウィッグ、帽子などをお勧めします。

倦怠感

治療開始 2、3 日後に症状があらわれることがあります。また、治療が継続することで徐々に出てくることもあります。症状が強い場合には、お薬で対応することがあります。

⇒無理に動こうとせず、安静にして様子を見て下さい。

にきび様症状・皮膚乾燥

多くの方に認められる症状です。早ければ、治療開始数日～1 週間後に顔や胸、背中にニキビのような皮疹がみられ、1～2 週間頃にもっとも強く出るといわれています。

次第によくなりますが、治療開始 3～5 週間後、皮膚の乾燥が強くなってきます。

皮疹にはステロイド軟膏、乾燥には保湿剤を使います。

⇒皮膚症状を軽くするためにも、日頃から保湿を心がけてください。

爪囲炎

治療開始 4～8 週間後に手足の爪の周りの皮膚に炎症がおこります。ひどくなると、爪の周りの肉が盛り上がり、強い痛みをとまいません。

⇒症状の軽いうちから早めにケアしていきましょう。保湿もあわせておこなうことが重要です。

口内炎

治療開始 1 週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。

痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

血管外漏出

点滴部周辺に不快感を感じる、赤くなる、痛みがでる、腫れるなどの症状があらわれることがあります。

⇒痛みや異常を感じたら我慢せず、すぐに医師・看護師にお知らせください。症状は数日続くこともありますので、外用薬などが処方された場合は継続して塗るようにしてください。

★下記の様な副作用症状が発現した場合は病院へ連絡してください。



- ★「便が泥状か、完全に水のようにになっている」、「すぐに便意を感じるまたはしづり腹がある」、「さしこむような激しい腹痛がある」、「トイレから離れられないほど頻回に下痢をする」、「便に粘液状のものが混じっている」(下痢)
- ★「皮膚のかゆみ」、「じんま疹」、「声のかすれ」、「くしゃみ」、「のどのかゆみ」、「息苦しさ」、「心臓がドキドキする」、「意識がもうろうとする」、「熱っぽい」、「急に寒気がする」、「ふらつく」(インフュージョンリアクション)
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。(間質性肺炎)

※これ以外にも、いつもと違う症状を感じたら病院へ連絡してください。

担当薬剤師